

令和 5年度「校庭芝生化地域連携事業」実施報告書

区市町村名 瑞穂町

学校名 瑞穂町立 瑞穂第五小学校

1 事業目的 協議会名 瑞穂第五小学校芝生維持管理委員会

学校と保護者、地域住民、スポーツ団体が芝生の維持管理を連携・協働して行う仕組みづくりを推進することを通して、学校を中心とした地域のコミュニティをはぐくむとともに子供の心身の成長・発達や地域の教育力の向上を目指す。

2 主な取組と成果

- 「スポーツ旬間」「たてわり班遊び」、体育の授業、休み時間の遊びについて、計画通り芝生を活用し、実施することができた。特に「スポーツ旬間」では、体力作りの一環として、事前に体験したり、練習したりする機会になり、体力向上につながった。
- 地域等関係機関との連携事業としては、昨年度まで感染防止の為中止となっていたが、今年度は、『モルック大会』を実施することができ、児童と地域の方々との交流を行うことができた。
- 芝生維持管理委員会では、年間を通し、裸地の解消、雑草の減少に取り組んだ。裸地については、冬芝のオーバーシードを行い、散水の回数を増やしたことで、回復の確認ができた。雑草については、十分な成果が確認できなかった。委員会として、芝生の活用の推進と維持管理を両立させる計画を作ることが次年度も必要である。

3 取組内容

○瑞穂第五小学校芝生維持管理委員会(①4/21 ②6/23 ③9/8 ④11/29 ⑤2月下旬(予定))

【内容】状態・管理状況の確認、今後の維持管理、PTA活動としての取組、関連作業等

○スポーツ旬間

体育委員の児童が教員と準備・片付けをし、スポーツに親しみを持つとともに、積極的に外遊びを続けていく態度を養う。

- ・1学期(5月23日～6月2日)「チャレンジスポーツテスト」校庭芝生内に「ソフトボール投げ」等コーナーを作り、体験、記録計測を行ったりした。児童集会を行った。

- ・2学期(12月4日～12月15日)「縄跳びチャレンジ」休み時間に「縄跳びチャレンジタイム」を作り、全校で、縄跳びに取り組んだ。児童集会をおこなった。

- ・3学期(1月15日～1月26日)\*体育委員会で内容検討中

○全校たてわり班遊び集会(毎月1回程度 朝の時間 全校児童218名)

- ・1～6年生で編成されたたてわり班で、6年生がリーダーとなり異年齢集団で遊びを楽しむ)

○以下の地域等関係企画は、「モルック大会」以外は、新型コロナ感染症感染防止のため協議の結果中止とした。

- ・モルック大会(12月9日 地域団体との連携交流)
- ・サッカー教室(五小少年サッカークラブとの連携)
- ・野球・ティーボール教室(ソフトボールクラブとの連携)
- ・お年寄りとの交流活動(地域団体・近隣施設との連携交流)



4 今後について

○芝生に親しみ進んで体を動かす児童を育てる教育課程

- ・スポーツ旬間での取り組みは継続する。
- ・消防写生会等校舎裏の駐車場で行ってきた行事を芝生で行うよう検討する。
- ・芝生を環境教育に活用する。

○地域等関係機関との連携の継続

- ・次年度以後も、コロナ禍以前に行ってきた取り組みと、同等の企画を地域等関係機関と生み出し、地域コミュニティを育む実践を継続させること。

○芝生維持管理委員会

- ・芝刈り等の作業分担、また関係機関の人員も活用し維持管理を行う方策を検討する。
- ・次年度も引き続き、裸地の解消、雑草の減少に向けた、管理工程の見直しを行う。